

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	乳幼児医療費助成事業	所管	保健福祉部 福祉総務課
			TEL 2998-9113

事業の目的 (何の為に 行うか)	医療費の助成を行うことにより、子育て中の乳幼児にかかる医療費の軽減と、子育て支援を行うことを目的としている。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	0歳から就学前までの全市民を対象に、保険診療分にかかる医療費を助成。	対象とした数	20,596	人
		実際に 利用した数	20,176	人

活動の内容	(何を したか)	1 乳幼児医療費受給資格登録申請書を提出していただき、受給者証を交付する。 2 資格取得日は、当該乳幼児が所沢市民となった日(誕生日、または転入日)、または医療保険加入日。 3 医療機関等からの乳幼児医療費申出書により助成を行う(市外医療機関等は除く)。								
活動実績	項目名	交付件数	4416		項目名	助成件数	277240		項目名	
			-----	-----			-----	-----		-----
			単位	件			単位	件		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	556,848	532,607	555,247	1,637.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	一人あたりの支給額	支給額/利用数	-----	24348	90.3
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]								
		終了 ⇒ 事業完了			終了			休止		
	予算	現状どおり * 増額			減額			終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了										
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化			改善余地なし			その他 [ ] 終了			
		予算	現状どおり * 増額			減額			終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	乳幼児医療費助成事業	担当	部課コード	040100	TEL	2998-9113
事業コード	040117	保健福祉部	福祉総務課			
開始年度	昭和 47 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ	福祉医療担当					

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令						
分野別計画・指針	関連・類似事業	ひとり親家庭等医療費助成事業、重度心身障害児等医療費助成事業							
総合計画の体系	政策	第3章 豊かになで健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	2 子育て家庭への支援	小柱	(1)地域における連携の充実	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ…		H19	A	H20	○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	1312	窓口体制の整備及び拡大	コード	1321	窓口満足度の向上	コード	3211	民間委託化の推進
事業開始の背景	本事業は、昭和47年9月から0歳児を対象に施行されたもので、その後戸田市や朝霞市が実施した。埼玉県では昭和48年7月から市町村に対する県補助事業を開始している。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	医療費の助成を行うことにより、子育て中の乳幼児にかかる医療費の軽減と、子育て支援を行うことを目的としている。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	0歳から就学前までの全市民を対象に、保険診療分にかかる医療費を助成。		利用者数の考え方	登録者数					
	対象数	単位	平成 18 年度	20,737	人	利用数	単位	平成 18 年度	20,100	人
			平成 19 年度	20,596	人			平成 19 年度	20,176	人
	事業の具体的な内容及び実施方法									
	1 乳幼児医療費受給資格登録申請書を提出していただき、受給者証を交付する。 2 資格取得日は、当該乳幼児が所沢市民となった日(誕生日、または転入日)、または医療保険加入日。 3 医療機関等からの乳幼児医療費申出書により助成を行う(市外医療機関等は除く)。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )	
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	平成19年度中に改善した点		
	平成19年10月から、医療費の一部負担金を市内協力医療機関の窓口で支払う必要のない現物給付化(窓口払い廃止)を実施し、市民の負担の軽減を図った。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		515,507	556,848	461,847	
	決 算 (見込み含む)		445,757	532,607		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 3.00 人 ) ( 人 ) ( 3.00 人 )				
	正規職員人件費	2.46 人	22,632	2.41 人	22,640	
	公債費					
	事業費合計		468,389	555,247		
	財源内訳	一般財源		386,852	457,468	352,254
		国・県支出金		81,537	99,380	109,593
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		1,386.2	1,637.6			
利用数一単位あたり(単位:円)		23,302.9	27,520.1			

⑥指標	項目名	交付件数	受給者証交付枚数	単位	件	H 18	4,307	H 19	4,416	H20見込み	4,526	将来目標
	活動実績	助成件数	医療費助成件数	単位	件		245,895		277,240		322,984	
	成果分析	一人あたりの支給額	支給額/利用数			目標値						
						実績	21,148		24,348			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	達成率			90.3				

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		受益と負担の関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	見直しの必要性
	明らかとなった課題	医療費助成の新規登録の受付について、件数も多いことから、職員が窓口業務に多くの時間を割いている。直接窓口での受付と限定することなく、郵送での受付も可能とし、窓口対応数を減らす。					
	今期目標項目(何を)	窓口業務の改善を図る	達成水準(どこまで)	医療費助成の新規登録について、直接窓口での受付としているが、郵送でも対応できるようにする。	時期(いつまで)	平成20年10月	
		医療費助成方法の見直しを図る		医療費助成について、支払基金への委託を検討し、平成21年度予算に計上するよう準備を進める。		平成20年9月	
	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	医療費現物給付化の実施などにより、利用数、医療費助成件数ともに増加している。窓口業務については効率化を図り、医療費助成については支払基金への委託を検討し、事務全体の見直しをすることで、子育て支援への貢献を図りたい。					
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	福祉総務課長	中村 俊明		

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位…	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	事後評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	医療費現物給付が実施されたことは、市民にとり大きなサービスの向上であり、評価する。今後は事務の更なる効率化を進めるために、支払基金への委託化を進めるべきである。なお、このことは事務量の減少に繋がることから、委託化にあわせ職員の適正配置に努められたい。								
評価日	9月1日								

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…	有り	計画コード	2131
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1すべての子育てで家庭への支援			
施策の方向	3経済的支援の充実				